

私たちは海とどうつながっているんだろう?!

海でも! 海に行かなくてもできる! / そのまま使える海洋学習の教材

LAB to CLASs

https://lab2c.net



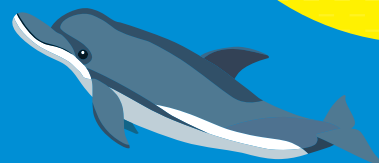
第3回

海を学ぼうスクール in 中野区

～海と日本 PROJECT～

海

先生



2019年 11月24日(日)

参加費: 無料(事前予約必要)

「知る・つくる・実施する・振り返る」

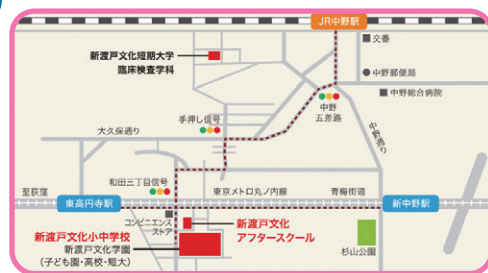
海のPBL (project based learning) デザイン

時間 9時～17時(受付8時45分～)

対象 学校教員, 指導者などの教育に関わる方20名

会場 新渡戸文化学園10号館アフタースクール(東京都中野区本町6丁目38-1)

海の素晴らしさ・楽しさ満載の教材<LAB to CLASS>をベースに、持続可能な社会を目指すための《スペシャル教材》をPBLデザインを用いて参加者と一緒で作成し、その場で子どもたちに実践。成果の振り返りを行います。各学校・施設ですぐに活用できる《海のPBLデザイン》を、参加者のみなさんと一緒につくることを目指すワークショップです。



東京メトロ丸の内線 東高円寺駅 徒歩5分

スケジュール(予定)

9時  
～  
12時

ワークショップ

海洋学習とPBL / LAB to CLASS教材体験 / 教材を使ったプログラムデザイン

13時  
～  
15時

プログラム作戦会議

同会場で開催中の「海の生きものKIDSワークショップ」見学 など

15時  
～  
17時

「海の生きものKIDSワークショップ」内での指導実践 & ふりかえり



2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です



14 海の豊かさを  
守ろう



17 パートナシップで  
目標を達成しよう



ファシリテーター  
山藤 旅間氏

(新渡戸文化小中学校・高等学校 生物教師 / 学校デザイナー / 一般社団法人Think the Earth SDGs for School アドバイザー / 未来教育デザインConfeito 共同設立者)

ブータンへの渡航を機に、「生徒自らが疑問を生み出し、解決のために行動する力」を引き出す教育デザインに取り組み始める。最近SDGsをキーワードに、社会課題の解決に向けて《社会と教育》をつなぎ、多様なステークホルダーとパートナーシップを組みながら多数のプロジェクトを展開している。NHK 高校講座講師、東京書籍教科書編集委員。



海洋学習教材 LAB to CLASS とは

四方を海に囲まれた「島国」日本! 地理的・経済的なハードルを越え、全国の子どもたちに海を身近に感じてもらいたい——。そんな想いのもとに全国で活動する多様なスペシャリストたちがつくる、海の学習教材です。「海の専門知識を持たない指導者(保護者)でも使いやすい教材をつくる」ことを目指し、さまざまなテーマの体験型海洋学習教材を制作。現在30種をWEBサイトで公開しています。



どんな教材?

- ・そのまま使える教材が、無料ダウンロードOK!
- ・指導者のためのティーチャーズガイドを収録!
- ・フィールドでも室内でもできるアクティビティが多数。



WEBサイトを  
ご覧ください!



お申し込みについて

※スケジュールは変更となる場合があります。

受付開始日: 10月1日(火)～ ※先着順  
お問合せ・申込先: LAB to CLASS プロジェクト事務局  
下記サイトの申込フォーム・お問合せフォームまたはメール。

<http://www.npo-bridge.org> または [info@npo-bridge.org](mailto:info@npo-bridge.org)

(特定非営利活動法人 海の環境教育 NPO bridge)  
〒108-0073 東京都港区三田3-2-21 ローランドミュージズ203

イラスト: 友永たろ

詳細・申込はWEBへ